

平成 30 年 6 月 19 日

植樹行事に参加しました

鯨城・堀川と生活を考える会
広報 谷田

6 月 16 日、イオン環境財団による 2018 年植樹が三重県松阪市であり、考える会から初めて 8 名が参加しました。

我が鯨城・堀川と生活を考える会は、環境活動団体としてイオン環境財団から 3 年連続助成を受けており、今回は財団の活動の 1 つである「植える」「育てる」「活かす」のうち「植える」の活動に参加しました。梅雨の晴れ間で絶好の活動日和でした。

午前 7 時、JR 名古屋駅前から他の参加者約 60 名と共にバス 2 台で出発、松阪市飯南町の櫛田川岸にあるリバーサイド茶倉に到着、東海 3 県からの参加者 600 人が集合しました。10 時から開会式があり、イオン環境財団の岡田理事長、鈴木三重県知事、竹上松阪市長から挨拶、地元の子供クラブによる植樹宣言があり植樹地に出発です。

再びバスに約 15 分乗り植樹地へ。斜面の伐採跡地が植樹地です。ヤマツツジ、モチツツジ、クヌギ、コナラ、モミジなど 12 種類の苗を 5,000 本植樹します。

現地はかなりの急斜面、足を滑らせないように注意しながら、移植ゴテを使い、1 人当たり 10 本の苗を移植しました。植樹終了後、地元の人達に調理していただいたシシ汁で疲れを癒し、帰途につきました。参加のみなさん、お疲れ様でした。

考える会から参加された会員の感想です。

- ・植樹という良い経験ができ、参加して良かった。
- ・ボランティア活動は楽しく、無理をせず、みんなで活動するところがいいと分かった。
- ・ヤッタ！という達成感を感じた。
- ・環境という理念を掲げて、それを継続しているイオンさんに敬服した。
- ・櫛田川の清流がきれいと感じた。
- ・人生初めての経験で急斜面を這うようにして無事 10 本のノルマを果たした。楽しかった。
- ・我々が植樹した木が 30 年、50 年、100 年後どうなるか考えると楽しみだ。
- ・事前準備されたみなさんの尽力を感じた。

